

若疑シク覚候ハバ
我等ノ所業終候処ヲ
爾等眼ヲ開テ看ヨ

12月5日
毎月5日20日発行
第22号
購読料 1部 30円
半年 1,800円 (送料別)

叛旗

発行人 川崎 文雄
編集人 中野 公金
印刷所 東京 東区 大久保 1-10-1
電話 東京 162856

12.10 共産同政治集会
12.14 学費値上阻止全部共闘会議
12.19 三里塚闘争

12.10共産同政治集会に結集し、三里塚へ大胆に進撃せよ

支配階級の延命策を全戦線で打ち砕け

沖繩関連法案を葬り、日一琉一体化路線を阻止せよ

「沖繩闘争をかくめい」は、民族「国家」を止揚する民衆的共同性は何か

時・12月10日午後六時(開演五時)
所・中野公会堂(国電中野駅南口車庫前)

過渡期世界の新局面とわれわれの路線……三上治
運命のあいさし……共産主義青年同盟・首都圏反戦線
報告と決意……各戦線三里塚・砂川・全都共闘会議(等)
「時間」・「空間」と政治組織……神津陽

沖繩七法案をめぐる――

諸勢力の動向

沖繩七法案は、日一琉一体化路線の推進に不可欠なものである。この法案の通過は、沖繩の自治を完全に破壊し、日本に完全な同化を強制するものである。我々共産主義者は、この法案の通過を阻止し、沖繩の解放と自治を闘争の目標とする。

この法案をめぐる動向は、以下のように見られる。

1. 政府側：自民党は、この法案の通過を強く望んでいる。特に、防衛省と外務省は、この法案の推進に力を入れている。また、一部の保守系議員も、この法案の通過を支持している。

2. 野党側：共産党は、この法案の通過を強く反対している。また、一部の左翼系野党も、この法案の通過を反対している。しかし、野党側には、この法案の通過を支持する勢力も存在する。

3. 沖繩側：沖繩の自治派は、この法案の通過を強く反対している。彼らは、この法案の通過は、沖繩の自治を完全に破壊するものであると主張している。一方、一部の保守系勢力も、この法案の通過を支持している。

学費値上阻止学闘闘争勝利に向け

学費値上阻止全都共闘会議結成を克ち取れ

12.14結成準備大会に結集せよ

学費闘争の現段階

学費値上阻止学闘闘争は、現在、全国各地で展開されている。この闘争は、学費の値上げを阻止し、教育の機会を確保するための重要な闘争である。我々共産主義者は、この闘争を勝利に導くために、全都共闘会議の結成を強く主張している。

この結成準備大会には、以下のような議題が盛り込まれている。

1. 学費値上阻止学闘闘争の現状と課題
2. 全都共闘会議の結成の意義と目的
3. 結成準備の具体的な方策
4. 結成後の活動方針

学費問題の社会的背景

学費値上阻止学闘闘争の背景には、社会的な問題が存在する。特に、学費の値上げは、貧困層の子弟にとって大きな負担となっている。また、学費の値上げは、教育の機会を減少させることにつながる。我々共産主義者は、学費値上阻止学闘闘争を通じて、社会的な問題を解決し、教育の機会を確保することを目標とする。

学費闘争の方向性

学費値上阻止学闘闘争の方向性は、以下のように見られる。

1. 学費の値上げを阻止する
2. 教育の機会を確保する
3. 学費値上阻止学闘闘争を通じて、社会的な問題を解決する

沖繩がつつしめる――

根源的課題に込めよ

沖繩の闘争は、現在、つつしめられている。これは、根源的課題に込めよという方針によるものである。我々共産主義者は、沖繩の闘争を通じて、根源的課題を解決し、沖繩の解放と自治を闘争の目標とする。

9.16への権力の弾圧・逮捕を粉碎し12.19

三里塚へ結集せよ、第三次強制代執行粉碎

9.16への権力の弾圧・逮捕を粉碎し、12.19に三里塚へ結集せよ。我々共産主義者は、第三次強制代執行を粉碎し、三里塚の解放と自治を闘争の目標とする。

